

9月の園だより

回覧
R8.9.10

令和8年8月31日(月) 羽茂こども園
副園長 吉田 歩

先日職場体験で来た高校生と一緒にたくさん遊びました。

夏の強い日差しや高気温で気が滅入りそうにもなる気候でしたが、子ども達は元気良く外へ飛び出し、飛沫や水の流れなどを存分に五感を働かせて水遊びを楽しんでいます。夏が始まる頃と比べると水の性質をより理解し、遊びが豊かになっていると感じます。これから少しずつ寒暖差も出てくる時期ですので、健康面に留意し、元気いっぱいに過ごしていきたいと思います。

9月の行事予定

日	曜日	予定	対象クラス
4日	金	布団の手入れ	全園児
10日	木	誕生日給食	全園児
18日	金	祖父母参観 / 布団の手入れ	全園児 / 全園児
21日	月	敬老の日	
22日	火	国民の休日	
23日	水	秋分の日	
24日	木	行事食	全園児
25日	金	親子遠足(0・1・2歳児)	つばめ・あひる・ひよこ組
26日	土	第2回環境整備作業(保護者会)	かわせみ・つばめ・あひる・ひよこ組保護者対象

※夏期は衛生面を考慮し、布団の手入れを基本的に隔週で行います。

※火災を想定した避難訓練を行います。

※身体測定の日程につきましては、アプリ コドモンのカレンダーよりご確認ください。

10月の主な行事予定...

- ・3日(土) 第2回環境整備作業予備日
- ・16日(金) 親子遠足(3・4・5歳児)
- ・21日(水) 内科検診
- ・22日(木) 歯科検診

育児相談会

9月11日(金) 15時～16時

未就園児の同席も大歓迎です。
ぜひお気軽にご参加ください。

教育実習

下記の日程で、学生が教育実習で来園します。
たくさん遊んで楽しみたいと思います。

<教育実習>

日程：9月14日～10月15日

国際こども福祉カレッジ2年生 2名

ブルーベリー園ホンマさんで
ブルーベリーの収穫体験をしました。



水遊びの様子

保育園留学園児の紹介

9月には2家庭同時に留学園児を受け入れる期間があるなど、羽茂こども園にまた新しい風が吹きそうな予感がしています。

留学園児を迎えることで、私たちも佐渡の魅力に改めて気付きます。この機会に自分たちが生活する場所の魅力を再確認し、佐渡島民として自信を持って生きていきたいと思います。



- ・9月13日～9月19日
3歳児1名
- ・9月24日～10月2日
5歳児1名
3歳児1名
- ・9月28日～10月2日
5歳児1名
3歳児1名

おまつりは刺激がいっぱい

夏は佐渡が大いに盛り上がる季節です。今年も各地でお祭りがあり、子ども達からも「鬼がいたんだよ!」「最後の花火おっきかったよね!音もすごかった!」など、たくさんのお話を聞きました。家族と一緒に祭りを楽しんだことが伝わってきて嬉しく思います。

様々な経験をした子ども達は、遊びの中でもそれを思う存分に表現しています。年齢関係なく友だちが楽しそうに遊ぶ様子に興味を持ち、刺激を受けて自ら遊びを生み出していく子ども達の姿は興味深いものがありました。異年齢で混ざりあって刺激し合うこの関係性に、子ども達の豊かな成長につながっていく道があるように思います。少子化が問われている今だからこそ、子ども達が最大限に成長できる環境であるために、クラスを越えた子ども同士の関わりというものも大切にしていきたいです。



↓年上の友だちのお店屋さんで一緒に遊んだ経験から、自分達の保育室でもお店屋さんごっこが大盛り上がりです。



←↓屋台を作る年長児とき組。高校生と一緒に遊んだ輪投げを生かして遊びが発展していました。

↑地域のお祭り以外に、夕涼み会でも刺激たっぷりで、足の角度まで再現しようとする熱心さに感心します。



みんなでミュージック・ケア

先日、羽茂地区長生会連合会及び社会福祉協議会のみなさまよりお誘いがあり、とき組の子ども達がミュージック・ケアに参加してきました。様々な音楽に合わせて体を動かし、参加者みんな笑顔いっぱいでした。長生会のみなさんだけでなく、小学生も参加していて、幅広い世代が集まるこのような機会があるのは誰にとっても大きな意味があると思い、嬉しいひと時でした。これからも地域に元気いっぱい飛び出していく子ども達であってほしいなと思い、この笑顔あふれるつながりを目指していきます。



裏面に、園長「はもちのほいく」があります。こちら合わせてご覧ください。



令和8年8月31日
園長 石木 むつみ

今月の1枚
「リフレクション研究会の様子」



リフレクションについての話はもちろん、園見学の感想なども聞くことができました。環境構成や雰囲気などの自信にもつながりました。

写真には上手く映っていませんが、き組の子ども達が遊びの中で楽しんでいる太鼓を披露！来園している先生方からは大きな拍手が沸き起こりました。

蝉の大合唱に夏を感じながらも、心と気が付くと、陽が落ちる頃にはこおろぎや鈴虫の声が聞こえてくるようになり、秋の訪れも間近なのだなと感じる今日この頃です。

先日、羽茂こども園が平成30年より参加しているリフレクション研究会が当園を会場に行われました。リフレクション（保育の中の振り返り）とは、子ども達の姿を深く見つめなおし、気づかなかった子どもの思いに気づいたり、保育者自身の行為や気持ちを深く振り返ったりすることであり、当園ではよりよい保育を目指し、定期的に時間を設けて取り組んでいます。

この日は、研究会を主宰している京都女子大学 村井尚子先生・大妻女子大学 坂田哲人先生を始め、参加している県内外の園の先生方が来園され、園内を見学していただいた後、情報交換を行ったりと、充実した研修会となりました。

羽茂こども園ではこのような研究会での学びや園内研修などを通して、子ども達のために保育の質の向上を目指して、学び続けていきます。

地域の中で育つ子ども達 2

7月31日は保護者会主催の「夕涼み会」が行われました。

この日まで、“どのような内容にしたら親子で楽しめる会になるか”と本部役員のみなさんが意見を出し合い、計画してきた夕涼み会。“地域とのつながりを大切にしたい”という園の意向にも賛同していただき、本部役員のみなさんのご尽力もあり、羽茂に馴染みの深い“羽茂中央青年会”をお呼びすることができました。

当日は、クラス役員の皆さんからもお手伝いいただき、子ども達はもちろんお越しいただいたご家族のみなさんも一緒に、輪投げや水ヨーヨーコーナーなどを楽しみました。

お楽しみコーナーの様子



大人気の水ヨーヨーコーナー。水にぬれてこよりの紐が切れてしまい、ヨーヨー釣りに苦戦しながらも、楽しむ子ども達でした。

卒園した小学生も参加！
何とか釣ろうとする真剣な表情が印象的です！



輪投げコーナーです。役員の皆さんから輪を受け取り、ねらいを定め、勢いよく投げます。



輪を入れた引き換えに、キラキラ光るおもちゃを選びます。子どもにとって魅力的なものばかりで、目を輝かせながら、選んでいました。

在園児と保護者の方だけではなく、卒園したきょうだい児やいとこの小学生、おじいさん、おばあさん達からもご参加いただき、各ブースは賑わいをみせていました。有線放送でも周知したこともあり、近所に住んでいる卒園児がお家の方と一緒に来てくれたことは、とても嬉しく、卒園した後もみんなの心に中に羽茂こども園が根付いているのだなあと感じた瞬間でした。

そして、なにより圧巻だったのは、やはり“羽茂中央青年会”のみなさんから披露していただいた太鼓と踊りです。目の前で鳴り響くリズムが刻まれた太鼓の音、そして、軽快なテンポに合わせて踊る青年会のみなさんの姿に、子どもも大人も釘付けでした。



このように、羽茂地区に受け継がれている伝統芸能を間近で見せてもらうことで、子ども達は自分たちの住んでいる地域の良さを知っていくのだと思います。そして、このように素晴らしい地域で自分たちは多くの人から守り愛されているのだということを肌で感じ、育っていくのだと思うのです。

受け継がれてきた伝統が身近にある環境に育つ羽茂の子ども達。とても豊かなことだと感じています。

夕涼み会の翌週。

週末に赤泊まつりがあったことも重なり、5歳児とき組の保育室は、祭り一色です。おみこしを作り園内を練り歩く人、太鼓を披露する人、屋台で作ったたこ焼きやかき氷を売る人、そして、お祭り目当てに買い物にくる年下の人たち。

子ども達の遊びや生活は、自分たちの実体験が生きているのだと実感する瞬間でした。体験したことを再現しようとするときの子ども達の姿は、とても生き生きとしています。



羽茂こども園の子ども達は、地域の中で育っていきます。この地域に受け継がれている伝統や、豊かな自然の中での体験から、遊びを見つけ生活を生み出していく。そして、地域の方の愛情を感じながら育っていく、この環境をこれからも大切にしていきたいと考えます。

“羽茂の大切な宝である子ども達”をこれからも共に育てていただきますよう、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

☆夕涼み会の計画から運営までご尽力いただいた本部役員の皆さま、夕涼み会当日お手伝いいただいたクラス役員の皆さま、本当にありがとうございました。



ご披露いただいた後は、自由に太鼓を叩かせてもらいました。力強く叩く子ども達に羽茂の未来を感じました。伝統が受け継がれていくことを願うばかりです。